

棚POWER インフォメーション

今年も残りあとわずか... 20世紀最後のインフォメーションです。 2000.12.14 Vol.29

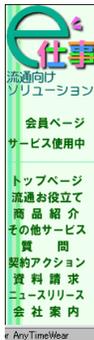


ICconcept® サポートセンター

OSAKA / TEL(06)6821-2571
TOKYO / TEL(03)5469-1153

http://www.iconcept.co.jp/
e-mail iccenter@iconcept.co.jp

「インターネットで棚POWER」ATWサービス 始動開始 <http://www.anytimewear.co.jp/>



遂にWeb上で棚POWERが使えるATWサービスがスタートしました。いつでも、どこでも棚POWERが使えるサービスとして注目を集めています。HPより申込み可能な「7日間ATWサービス(無料)」も大好評です。既に多くの企業からお問い合わせをいただいております。



主な製品・サービス

- 棚POWER・ATWサービス(ASP)
- 店POWER・ATWサービス(ASP)
- 品POWER・ATWサービス(ASP)
- ATW支援サービス(流通コラボレーション)(ASP)
- グループウェア・ATWサービス(ASP)
- Microsoft Office・ATWサービス(ASP)

日経流通新聞(10/31)にも掲載!!

～ASP新会社 棚割ソフト ネットで提供～

(前略)～アイコンセプトが開発した「棚POWER」は700社以上に導入されている。～ASPの開始にあたり、食品、日用雑貨など13万品目以上を登録した商品画像データベース・センターを用意した。ネットで百種類以上の商品画像を取り込む場合、普通は6～20分以上かかる。しかしエニタイムウェアサーバーに仮想画面を置き、独自の通信手順で手元のパソコン上に表示する新技術を活用するため、1分以下で棚割が完了するという。(後略)



エニタイムウェアのホームページへは、アイコンセプトホームページ(<http://www.iconcept.co.jp/>)のパナー(トップページ)からリンクしていただくか、上記のURLにてご確認ください。

※さらに詳しい内容はHPをご覧ください。※チェーンストアエイジ 12月号にも広告掲載しています。

棚POWER 次回Ver9.0予告! 来春2月出荷予定、詳細は随時ホームページで公開します。

次回バージョンアップでも棚POWERはますます進化します。予定しております最新機能の一部をご紹介します。

●スタンドアロン版とC/S版との統合。

次回Verより、環境設定でスタンドアロン版とC/S版との切り替えが可能になります。例えば、本社ではC/S版、外に持ち出す場合はスタンドアロン版、といった活用を行なう場合にも容易に切り替えが可能になります。

●インストアコードが利用可能になります。

チェックデジットを無視したコードの登録が可能になります。これにより、ノンPLUコードや自社独自のコード体系の使用が可能になります。注意:他社とのデータのやり取りには注意が必要です。また使用できるコードは数字のみ13桁となります。

●ほぼすべての帳票でExcel出力を可能にしています。

帳票によっては、エクセルブック内にイメージやバーコードなどもメタファイル形式で出力可能になります。

Excel出力可能な帳票

クロス分析表/クロスABC分析表/使用棚情報/見積書/仮置情報/星取表
モデル検索/ダミー一覧表/モデル分析/パターン管理/メンテナンス商品情報

見積書出力例



●棚割表(野線)が全台出力可能に(Excel出力含む)

これまでの台別出力に加え、全台での出力が可能になります。

●面変更がさらに使いやすくなります。

これまで、陳列面を変更する場合は、単品ごとに指定する必要がありましたが、指定範囲や段指定により一括での変更が可能になります。範囲指定で陳列面を上面に一括変更

どのほかにも...



- ・支店展開エクスポート機能の拡張
- ・仮置機能の充実(全陳列形態可能に)
- ・什器の一括連結/解除の新設
- ・什器詳細への横ルーターの新設
- ・3D表示の拡張
- などを予定しています。

アイコンセプト/エニタイムウェア 展示会スケジュール

展示会にも続々出展します!是非、お立ち寄りください。詳細はHPでも順次ご案内していきます。

□第2回 プラネットマーケティングフェア(化粧品・日用品・雑貨業界合同展示会です)

日時: 2000年1月24日(水)～26日(金)
場所: 東京ビックサイト 東展示ホール1, 2ホール
ブース番号: IT-026

□第1回 JAPANドラッグストアショー(ヘルスケア,コンビニエンスケア,ビューティーケア,ホームケア)

日時: 2000年2月15日(木)～2月17日(土)
場所: 東京ビックサイト 西展示ホール1, 2ホール・アトリウム
ブース番号: 2-G01

□RETAIL TECH JAPAN 2001(IBSASHOWです。)

日時: 2000年3月6日(火)～3月9日(金)
場所: 東京ビックサイト 東展示ホール1, 2ホール
ブース番号: 未定(決定次第ご案内いたします。)

招待状をご希望の場合はお問い合わせください。

MD-ing講座 23 ●POSデータの分析について●

今回からPOSデータの分析について説明します。

まず第一のポイントは、「POSデータの活用目的を明確にする」事です。
意外に思われるかもしれませんが、この目的がないがしろにされていることが多いのです。
とにかくPOSデータを買えれば的発想が多いのです。
ではどのような目的があげられるかというと、

1. 売上金額、売上数量、粗利益額、伸び率から、店内レイアウトの変更や、
ゴンドラ本数の変更、ゴンドラ内のゾーニング変更などといった「生産性分析」を目的にする。
2. 自店に無くて、他店・他エリア・他業態で売れている商品は何かや、新商品の追加、
不振商品のカット、商品分類の再構築、そしてサブカテゴリー・メーカー・ブランド構成
比比較といった「品揃分析」を目的にする。

第二のポイントは、「分析手法」についてです。
目的が明確に決まったら分析の方法を決めることです。
誰もが使える簡単な方法をルール化すると良いでしょう。例えば、

1. サブカテゴリーのスペース配分の分析については、
ステップ1 ゴンドラ全体の占めるcm²を求めておく。
ステップ2 ゴンドラ全体の占める売上高・粗利金額を求めておく。
ステップ3 1cm²当りの売上を求める。
ステップ4 当該サブカテゴリーの占めるcm²で、当該サブカテゴリーゴンドラ当り売上高
を割り、当該サブカテゴリー1cm²当り売上高を求める。
ステップ5 基準になるデータと比較する。
ステップ6 原因を追求する。

[ex : 横90cm 縦170 cm のゴンドラの場合]

- ステップ1 ゴンドラ全体のcm²は、90 × 170 = 15,300cm²
- ステップ2 ゴンドラ1本当り120,000円の売上有る場合、
- ステップ3 120,000円 ÷ 15,300cm²となり、1cm²当りの売上は、7.84円になります。
- ステップ4 当該カテゴリー1cm²当り売上高は、

$$\text{当該カテゴリー1cm}^2\text{当り売上高} = \frac{\text{当該カテゴリーゴンドラ当り売上高}}{\text{当該カテゴリーに占めるcm}^2}$$

- ステップ5 基準になるデータと比較する。
- ステップ6 原因を追求する。

2. ある商品のスペース配分の分析については、

$$\text{A商品の1cm}^2\text{当り売上高} = \frac{\text{A商品の売上高}}{\text{A商品の占めるcm}^2}$$

で求め、基準になるデータと比較し、対策を考えます。
基準になる数字は、全店平均、目標値、前年比などです。

3. ABC分析については、

単純ABC分析
売れ筋・・・ベスト10・死に筋・・・ワースト10
売上金額ABC
売上数量ABC
粗利益額ABC
自店Cランク、他店・他エリア・他業態Aランク商品

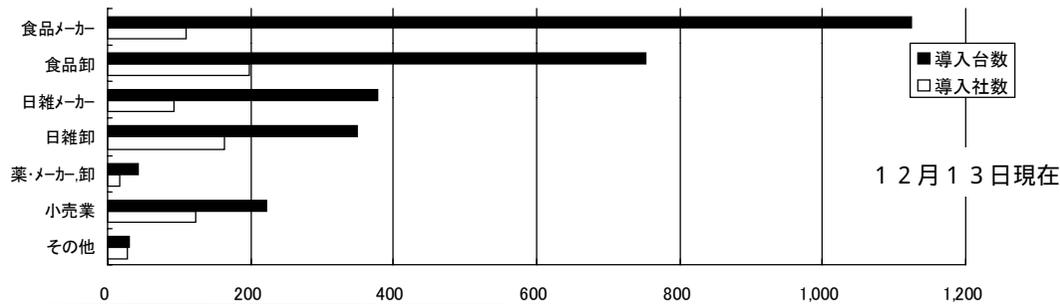
クロスABC分析
売上金額と売上数量
売上金額と粗利益額
売上数量と粗利益額

ex:

	売上金額	A	B	C
粗利益額				
A				
B				
C				

次回に続きます。

棚POWER導入数【 735社 2,901セット】



サポートセンタートピックスNo.14

サポートセンターへのお問合せが多い
項目や便利な機能のご紹介

●HPの「棚POWER Q&A」を棚割中に確認するには

プルダウンメニューのヘルプから「ホームページのQ & Aへ」を選択するだけで、
普段お使いのブラウザソフトが起動しQ & A集の閲覧を行なうことができます。
Ver8.20以上をご使用中で、お使いのパソコンでインターネット接続可能な場合になります。
活用：操作方法を調べたり、メッセージ・現象・機能別検索など目的に応じて活用が可能です。
メールでのお問合せは、バージョン情報から、サポートセンターのメールアドレス
< iccenter@iconcept.co.jp > を指定してください。

●複数の棚割モデルをひとつのモデルに編集したい

モデル活用からのモデル結合機能を使用すれば、複数の既存モデルをもとに新たなモデルへと
編集することができます。
活用：大きな売場の一部を抜き出したり、複数売場の複数分析などを行なう際にも有効です。
方法：モデル参照から結合したいモデル・台を選択します(6モデルまで選択可能です)。
実行すると確認メッセージを表示します。
モデル設定により、結合したモデルのフェイスングが可能になります。

●複数モデルの陳列商品を一括で新商品に入れ替えたい

モデル活用の一括商品入換えを使用すれば一括での商品入換が可能です。
活用：カット商品に換わる新商品などを投入したい場合に有効です。
廃盤商品のみを指定することで指定した商品の一括削除のみを行なうことが可能です。

●フェイスングを開いた際に棚全体を表示する方法

モデル設定時のフェイスング解像度自動調整にチェックをつけることで、
フェイスングを開く際に棚全体フェイスングウインドウに棚全体がおさまるよう表示します。
活用：フェイスング中に表示サイズを変更するには、
機能ツールの表示切替でウインドウ表示する棚割全体のサイズを任意に変更可能です。
(自動調整・標準モデル設定・棚高基準・棚幅基準)
自動調整に設定することで、棚全体がおさまるよう表示します。
ここでは、ダミーイメージへの切替も可能です。



●Windows 2000またはWindows Meでもご利用いただけます

棚POWER、品POWER、店POWERともにご利用いただけます。

年末年始業務のご案内

年末・年始につきましては、東京、大阪サポートセンターともに下記の通り
業務を行ないます。お問い合わせはHPをご活用ください。
[年 内] 12月28日(木)まで 通常業務(サポート問合せを含む)
[年 始] 1月9日(火)より 通常業務開始